一般社団法人　つながる社会保障サポートセンター
「2021 年度　事業計画」

(1)社会福祉，社会保障に関する相談支援

　新型コロナへの対応を含め、ますます複雑・多様化する相談現場に役に立つ情報と支援をお届けし、ゆるやかなつながりを紡いでいきます。
　なお、新型コロナ感染症の動向が不透明なため、計画は流動的で、感染拡大状況によっては、中止・変更がありえますが、今出来ることを着実に実施し、未来を見据えて歩みを進めていきます。

＊当法人のホームページとメーリングリストを活用し、社会福祉，社会保障に関する最新情報など、相談支援者にとって役に立つ情報を発信していきます。
＊メーリングリストでの相談支援者からのご相談は、2020 年度はほとんどありませんでした。2021 年度は、より相談しやすい状況を工夫していきます。個別具体的な相談は、プライバシー保護も必要なため、オープンなメーリングリスト上ではなく、別の「相談箱」に切り分けることを想定しています。また、切り分けた相談は、「相談箱」で完結し、その要点を匿名化して、メーリングリストでＱ＆Ａを掲載し情報共有を図ることを構想しています。
＊2020 年度の新規入会会員として、社会保険労務士、医師、保健師、介護福祉士、就労支援員、家計改善支援員、ファイナンシャルプランナー、精神ソーシャルワーカーなどの新職種のかたが加入されました。相談対応できる専門職の定着と、職種の幅や人数など、相談回答が可能な人的ネットワークをさらに増やしていきます。
＊今年度も引き続き、「コロナ災害を乗り越える　いのちとくらしを守るなんでも電話相談会」に参画・協力していきます。

(2)社会福祉，社会保障に関する講師派遣及び研修

　本来なら、講師派遣による「地域学習会」や「合宿」、相談員と法律家とをつなげる都道府県単位の「地域キャラバン」等を開催したいのですが、新型コロナ感染症の拡大状況により、実施が困難な状況です。
　そこで今年度も、ZOOM を活用した学習会を３回程度、企画・実施します。

(3)社会福祉，社会保障に関する調査・研究、提言

＊昨年度に開催した ZOOM 学習会を契機に、「住民税非課税で使える社会保障制度」について、調査・研究・論議を深めていきます。
＊普遍的な住宅手当の実現について、調査・研究します。その一環として、2021 年 10 月 30 日・31 日に開催予定の「クレサラ対協被害者全国交流集会」

に参画・協力し、10 月 31 日午前の「分科会」を主催します。場所は「エルおおさか」で、リアル開催とオンラインのハイブリッド開催を予定しています。テーマは、「生活困窮者の”居住の権利”を考える ～ 住居確保給付金から普遍的な住宅手当へ～」。岡本 祥浩(よしひろ)さん （中京大学 総合政策学部教授)、林星一理事 などを交えて、「住まいは人権」の実現を模索します。

今年度の予定 （確定分）

●2021（令和 3）年 4 月 17 日（土）（開催済み）
つなサポ設立 1 周年記念「地域共生社会シンポジウム」

＊「コロナ禍における生活困窮者支援の現状と効果、これからの施策について」
講師：唐木啓介さん（厚生労働省社会・援護局地域福祉課
生活困窮者自立支援室長・地域共生社会推進室長）

＊「コロナ禍における地域共生社会の実現」
講師：宮本太郎さん（中央大学法学部教授）

＊質疑応答
林星一さん（座間市）、生水裕美さん（野洲市）

●2021（令和 3）年 4 月 24 日（土）
「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守るなんでも電話相談会」

●2021（令和 3）年 6 月 12 日（土）
「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守るなんでも電話相談会」

（以降、2 か月に 1 回、電話相談会を開催予定）

●2021（令和 3）年 6 月 26 日（土） 定時社員総会

●2021（令和 3）年 10 月 30 日（土）、31 日（日）
クレサラ・生活再建問題被害者交流集会（大阪） 全体会、分科会